

# 85歳以上の超高齢者における経口抗凝固薬服用中の消化管出血に関する研究 のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間：2019年9月12日～2021年3月31日**

**〔研究課題〕** 85歳以上の超高齢者における経口抗凝固療法中の消化管出血についての検討

**〔研究目的〕** 脳塞栓症の有効な予防薬である経口抗凝固薬は、時に副作用として消化管出血を起こすことがあります。特に高齢になるとその危険性が高くなる可能性が海外で報告されていますが、わが国については情報が少なくわかっていません。本研究は85歳以上の方においてこのような薬剤を服用している間に消化管出血を起こされた方を調査し、その特徴を明らかにするためにいきます。

**〔研究意義〕** これらの薬剤を服用して消化管出血を起こされた85歳以上の方の特徴を調べることによって、出血後の治療で注意すべき点が明らかになります。

**〔対象・研究方法〕** 医療記録（カルテ）から、2011年4月から2017年6月までに、ダビガトラン、リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンを投与された患者さんの中で出血を起こした方の医療記録（カルテ）を2018年12月まで追跡調査し、85歳以上と未満の方の特徴を比較します。

**〔研究機関名〕** 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

**〔個人情報の取り扱い〕** 個人が特定され得る記録については暗号化し、学内の規定（プライバシーポリシー）に従って、学内の施錠可能な場所に保管します。研究終了後は封かん後の保管（10年）および破棄は手順書に従って帝京大学臨床研究センター（TARC）で保管します。尚、研究への参加を拒否される旨申し立てをいただいた場合は、直ちに研究用データからご本人のデータを取り除き、解析には使用しません。

**対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。**

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 教授 山本貴嗣

研究分担者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 准教授 小田島慎也、講師 阿部浩一郎、  
大学院生 大和洸

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 7030〕